

PIANC 本部、国内部会事務局長会議の概要

PIANC-Japan

事務局長 柳生忠彦

開催日時：2011.2.2、09：30～16：00

会議場所：PIANC 本部会議室

出席国：イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、スウェーデン、
スペイン、チェコ、インド、日本

議事：

1. Schel 事務局長挨拶
2. 前回（2010.2.5）議事録の確認：インドから、会費の件についてコメントのあったことを記録する。
3. 会員管理システムについて：
 - ・ WEB で、各国内部会事務局が会員の状況（会費の支払い管理を含む）管理を行う。2月7日ころから供用する。
 - ・ 新入会員は国内部会で登録後、直ちに会員としてのサービスが受けられるようになる。
 - ・ 会員専用 WEB サイトへのアクセスは登録した e-mail アドレスとパスワードによる。会員の新しいパスワードを2月7日以降に設定・通知（国内部会から）する。
 - ・ 午後の会議で、システムの詳細と使用方法の説明がマニュアルに基づいて行われた。
 - ・ 会費未納入者は5月1日以降には Website の閲覧をするためのパスワードが無効となるようにする。（国内部会で入力する）
4. 出版方法の変更：
 - ・ 2011.1.1 から、On Course（3回/年）、Sailing Ahead（ニュースレター6回/年）と WG レポートは電子化された。ただし、WG 報告については WG の判断で印刷物にすることも認められる。ただし、印刷費用は WG で調達すること。
 - ・ 会員は WEB サイトから過去のすべての WG レポートをダウンロード出来る。非会員は、WEB サイトで報告書の概要を見た上、PayPal による支払いでダウンロード出来る。
 - ・ インターネットアクセスが出来ない会員については、本部からプリントを配布する。対象会員の氏名を本部に連絡すること。
 - ・ Yearbook は毎年4月に印刷物として発刊する。記事の掲載を4回にわたって督促したが、いくつかの国内部会（日本、イギリス、アメリカ、ベルギー、イタリア、スペイン、ポルトガル、インド）から原稿の提出があったのみである。
 - ・ 委員会等の報告やプラチナ会員用のページも2ページづつある。

5. WG 報告書：
 - 2つの報告書を編集中である。
 - WGの活動は原則として2年以内となっている。長く活動しているWGについてはExComやCouncilで存続について検討することになるが、PIANCがボランティア活動であることを考えると活動の進捗について、強くは言えないのが実情である。
6. 会長選挙：
 - 現会長の任期は2011.5までである。
 - 5月のベルリンAGAで4候補の中から投票によって決定する。
 - 会長候補のPolicy Plan(提出済み)を事前に、今回のcouncilの議事録と共に各政府会員に送付する。
 - ベルリンAGAで各候補が10分程度プレゼンテーションと質疑を行う。
 - 投票権は各国の会費をもとにした票数による。(日本は11/189)
 - 各国は候補者の中から、投票用紙の適任者一人にチェックを入れる。各国代表は密封した票を無記名で投票箱に入れる。
 - 出席出来ない国は出席国に投票の依頼をすることができる。依頼を行う場合は5月1日までに本部にその旨申し出る。ただし、依頼を受けられるのは1国につき1国までとする。
 - 開票は副会長が行い、有効票(欠席国は無効)の過半数を獲得したものを当選者とする。1回目で過半数に至らない場合は上位2名での決戦を行う。
 - 会長は1期4年で3期まで就任可能。
7. 事務局長選任：2015年から専属の事務局長を選任する。
8. National Section Awardの立候補締め切りは2011.4.1
9. Commission、WGの委員：PIANC会員でないこともあるが、専門家を求めているということから会員でなくてもやむを得ない。ただし、出来るだけ会員になっもらうように努力する。
10. プラチナ会委員の獲得： kongressの会費2名分不要、Yearbook2ページの記事との掲載等特典も多いので会員獲得のPRを積極的に行う。
11. ベルリンAGA時(5月16日、14:00～)にSecretaries Meetingを開催する。